

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物収集運搬業務委託				開始年度	平成4年	
基本目標	廃棄物処理体制の整備				終了年度		
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦敏
21年度決算	43,175	千円	22年度予算	43,175	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	73 千円		22年度人件費	72 千円		事業従事者数	0.01 人 0.01 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	ごみの収集運搬等を業者へ委託することで、経費の削減につながることを目的とする
事業の内容	ごみの収集運搬を民間業者へ委託。 ごみの効率的な収集運搬を行う。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 可燃ごみ及び古紙類収集運搬委託料	家庭ごみの収集運搬を委託業務とすることで、人件費、車両機材に係る経費の抑制となっている。
	2 不燃ごみ及び資源ごみ収集運搬委託	家庭ごみの収集運搬を委託業務とすることで、人件費、車両機材に係る経費の抑制となっている。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 収集ごみ量(可燃ごみ・古紙類)	町内のゴミ集積所(可燃ごみ約850)に出るごみを計画的に収集し処理施設へ運搬搬入。
	2 収集ごみ量(不燃ごみ・資源ごみ)	町内のゴミ集積所(可燃ごみ約560)に出るごみを計画的に収集し処理施設へ運搬搬入。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	可燃ごみ及び古紙類収集運搬委託料	目標値	21,618,000	21,618,000	21,618,000
		実績値	21,618,000	21,618,000	
		達成率	100.0%	100.0%	
	不燃ごみ及び資源ごみ収集運搬委託	目標値	21,557,000	21,557,000	21,557,000
		実績値	21,557,000	21,557,000	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値				
実績値					
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	収集ごみ量(可燃ごみ・古紙類)	目標値	4,400	4,400	4,300
		実績値	4,495	4,336	
		達成率	102.2%	98.5%	
	収集ごみ量(不燃ごみ・資源ごみ)	目標値	550.00	535.00	515
		実績値	545.95	550.00	
		達成率	99.3%	102.8%	
0	目標値				
実績値					
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理事業が市町村に義務付けられている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	分別収集することにより、資源物の再資源化が進んでいる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	広報により家庭系一般廃棄物のごみ量は減量している。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	ごみの分別徹底については、町民の協力が必要。 マイバッグ・マイ箸・マイボトルの使用についても、ごみの減量化につながる。

事務事業名	一般廃棄物収集運搬業務委託	担当課(局)	町民生活課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	<p>家庭系ごみについては、可燃系ごみと不燃・資源系ごみに分けそれぞれ収集・運搬を委託し、事業系ごみは各事業者の責任により処理いただいております、ある程度の成果をあげているところである。</p> <p>今後は、事業系ごみと家庭系ごみの分別をより徹底するよう、引き続き周知・啓発に努めたいと考える。</p> <p>また、家庭系ごみの収集運搬業務については、経費縮減や収集体制の効率化等の観点から業者の一元化を図っていく時期がきていると考える。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充		○		
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	<p>◎廃棄物処理計画に基づき、適切な処理をしなければならない。</p> <p>◎委託業者の一本化と併せ、業務の効率化に向けた検討が必要である。</p> <p>◎ゴミ収集運搬業務を統合することで大幅な経費節減が図れないようであれば、町内業者育成の観点からも統合すべきではない。</p>
	コスト	現状維持	